

ETロボコン2007 モデル審査基準

2007年4月12日 Ver1.1

ETロボコン審査委員長 渡辺 博之

	観点	内容	
モデルの書き方	「モデルで記載された内容を、いかにうまく伝えることができるか」について審査します。		
	モデル自体の書き方について審査します。		
	モデル	表記の正確性	採用した表記法にしたがっているかどうかを審査します。 UML以外の表記法も可能。
		図の構成	モデルを構成する各図の妥当性や効果などを審査します。 たとえば、 視点ごとに図がわかれているかどうか 各図の間のトレーサビリティ などです。
		図の内容	一つの図に対し、そこに記述されている内容のわかりやすさを審査します。 たとえば、 レイアウト グルーピング 要素数 などです。
	モデルを補足する文書の書き方・内容について審査します。		
	補足文書	コンセプトシート	コンセプトシートに記載されている内容を審査します。 たとえば、 モデル全体の説明 訴求ポイント などです。
		モデル補足説明	モデル内に描かれているモデルに対する説明文や図解などを審査します。 たとえば、 モデリング方針 モデルの構成、各図についての説明 アルゴリズムや戦略の解説 などです。
	オリジナリティ	モデルやコンセプトシートに対して施された、モデルの理解性を上げるための独自の工夫があれば、審査において加点されます。	
	モデル内容	「問題のとらえ方や、その実現方法の妥当性・実現可能性」について審査します。	
モデルとして記述された内容について、品質面からの審査を行います。			
品質		静的側面	機能を実現する上で必要な要素がもれなく抽出され、かつ、それらに対し、分割統治と抽象化が効果的に施されているかどうかを審査します。 たとえば、 問題領域の分離はうまくなされているか 責務分割は妥当か 関連や多重度は適切か 必要な抽象化がなされているか などです。
		動的側面	機能を実現するために必要な、要素の内部動作および要素どうしの協調動作について、その妥当性や実現可能性を審査します。 たとえば、 要素に対する状態やアクションの定義は適切か 機能の実現方法が検証できるか などです。
性能		モデルから読みとれる予測性能について、その有効性や実現可能性などを審査します。 たとえば、 走行戦略 アルゴリズム 技術要素 などです。 なお、この項目については、従来のモデル審査を行う審査委員とは別に、性能面に特化した審査を行う審査チームを別に組織し、そこで審査を行います。	
オリジナリティ	モデルとして記述された内容に、従来にない新たな内容が認められた場合には、審査において加点されます。 たとえば、 問題領域の新しい分割の仕方 新しい走行戦略 新しいアルゴリズム		